消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1.　事故・ヒヤリハットの別	事故
2.　体験した事例の名称	無人での車両前進事故
3.　体験した事例の中心的要素	車両を移動させるため，乗車せずに歯止めを外した際，車両が前進し壁に衝突した。
4.　体験した事例の原因・理由	サイドブレーキの引きが甘かったのが一番の原因であるが，車両に乗車せずに歯止めをはずして車両を離れたことも原因である。

【体験した事例の直接的原因について】

1.　体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。 行動の実行に問題があった。

【体験した事例について】

1.　発生日時	平成26年10月23日　午前11時頃
2.　発生した当時の天候	晴れ
3.　発生した活動現場	屋外：車庫
4.　体験した事例の種類	
5.　事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6.　どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	激突
7.　事例体験時の活動	その他:車両清掃
8.　（7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：車両清掃
9.　同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者A	年齢[36]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[13] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[41]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[10] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ] 同様の活動 [ ]、任務 [ ]
○その他（当事者が4人以上の場合）	

11. 事例発生の経過。

	誰が（何が）	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Aが	歯止めをはずして車両を離れた。	
経過2	車両が	前進し壁へ激突した。	
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他 ：怪我をしていない

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	はい
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

l. その他の理由があった。

サイドブレーキの引きが甘かった・車庫に傾斜がついていた。

【事故発生後の取り組みについて】 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

〇注意力欠如、焦り等の対策について

しっかりと動作をしたことについては呼称して周りの隊員に確認してもらう。

〇装備・資機材の対策について

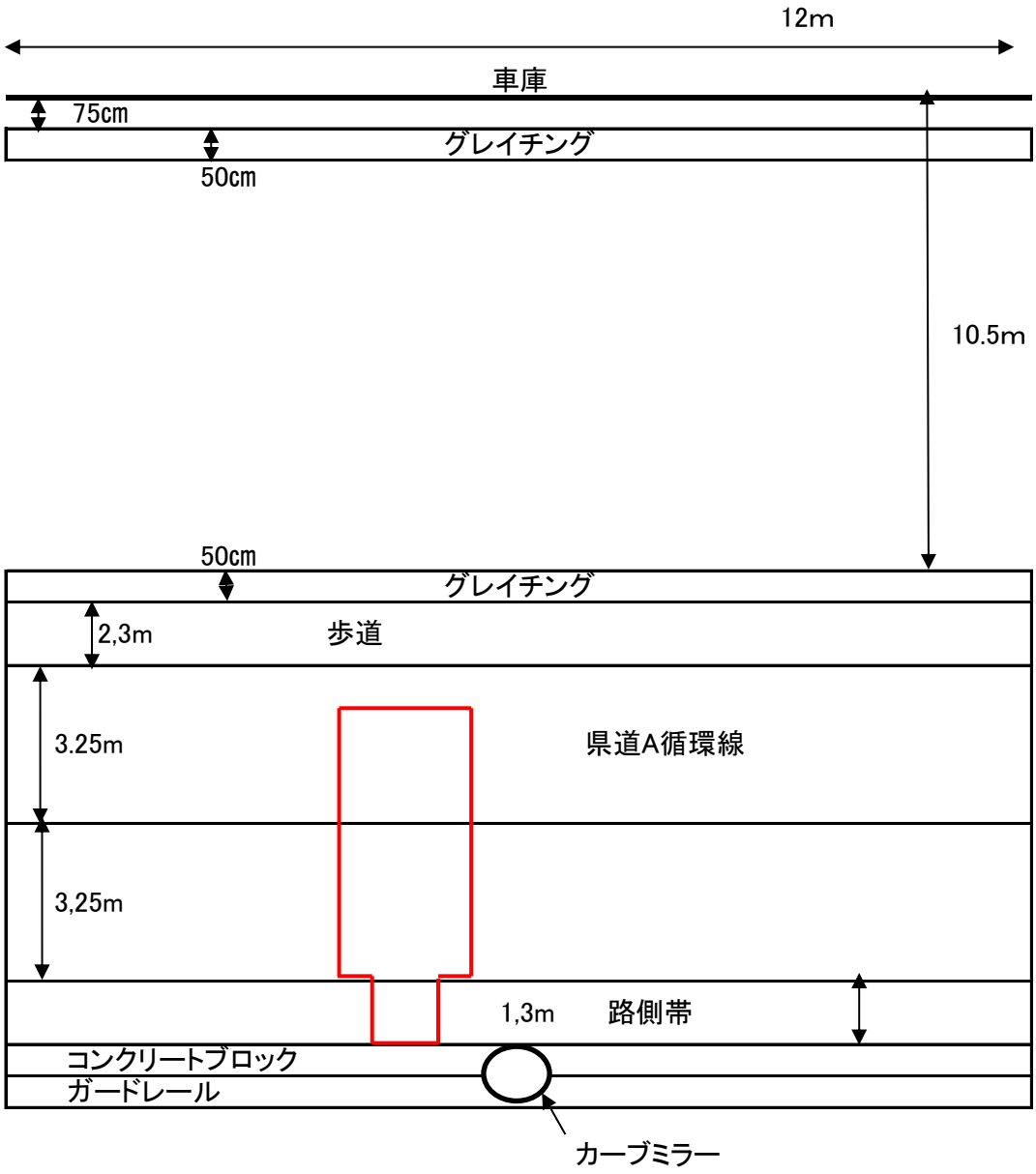
歯止めを増やした。

〇活動環境の対策について

機関員が乗車してから歯止めをはずす。機関員が降車する前に，歯止めをする。

〇指揮・情報伝達の対策について

事故発生場所詳細図


12m
車庫
75cm
グレイチング
50cm
10.5m
50cm
グレイチング
2,3m
歩道
3.25m
県道A循環線
3,25m
1,3m
路側帯
コンクリートブロック
ガードレール
カーブミラー